

CLUB HARLEY

Ride the HARLEY-DAVIDSON.

ノベトキナルミが港町を
ぶらりハーレー散歩!



毎月14日発売
クラブ・ハーレー[®]
定価 1000yen

2014年6月号(毎月14日発売)
5月14日発売
第14巻第6号通巻156号

6 2014
June
Vol.167

Thanks
40
Anniversary
桜出版社

コテコテよりもお洒落にキメたい。

脱ハードバイカーなベスト活用法

守るのは身体だけじゃない。

雨で濡れないギア戦術

1000マイルを駆ける
ハーレー乗りの知恵。
The
Wisdom
of
1000 Miles
Ride



自分に合った姿勢が重要。

ハーレーで最近人気なのが、街中をスタイリッシュに流して走るストリート系モデルだ。ダイナではファットボブ、ソフテイルではブレイクアウトやワイドグライドなどがそれ。Vロッドはナイトロッド、Vロッドマッスルの2機種とも同じスタイルと言える。

これらのモデルで共通しているのが、足を前に投げ出すフォワードステップとストレートなドラッグバー（あるいはそれに近いハンドル）を採用したワイルドなライディングポジション。でも、もともとは背が高く手足の長い欧米人がリラックスして走るのにピッタリ作ってあってしまう。そこで注目なのが、ロングツーリングを快適にするためのカスタムだ。

エビ反りポジションを解消する力

スタムポイントは、ステップ、ハンドル、シートの3つ。この全てを変えて自分にピッタリ合ったポジションを作り出すのが理想だけど、どれか1つでも変えるだけでも快適性がグッと良くなることがある。また、体格の違いから快適なポジションは人それぞれに違うもの。こうした微妙な違和感を解消するにも、カスタムは大切だ。ハンドルやシートのカスタムパーツは純正、社外ともに充実していて、数は少ないがステップの位置を変えるパーツもある。

FXSBSE CVO ブレイクアウト

EBI 02

職人のこだわりが生んだハンドルで自然な姿勢に。

問／トライヤ TEL072-970-3110 www.trijya.com

ロングランにピッタリの手前＆低めの逸品ハンドル。

CVOのブレイクアウトは、ショートライザーにセミアップハンドルを組み合わせていて、スタンダードのブレイクアウトほどではないがエビ反りになってしまう。それを解消しつつ、CVOにマッチしたデザインを備えているのが、トライヤのハンドル。グリップ位置がグッと手前になり、高さも低くなるのだ。



CVOブレイクアウトの低めでメーターが一体のライザーに合わせたデザイン。幅はノーマルと同じで、手続きも不要だ。11万8000円



FXSBにはこちらをどうぞ。

CVOブレイクアウトと異なり、手前に曲がったライザーが装着されているスタンダードのブレイクアウトには、グリップ位置が斜めに30mmアップするライザーカラー（1万8900円）がリリースされている



FXDWG ワイドグライド

EBI 04

ペグを少し近づければ“足ピーン”にサヨナラ。



問／キジマ TEL03-3897-2167 www.tk-kijima.co.jp

ブレーキアームやシフトレバーはそのまま流用。

ワイドグライドのフォワードステップはそれほど遠くはないけれど、足を伸ばしたまま長距離を走るのは辛い。そこで、ステップペグの取り付け部に装着して55mmバック&35mmアップさせるのが、キジマのステップバックブラケット（1万6200円）だ。



ステッププレートを交換するのではなく、ペグとプレートの間に装着して位置を移動するもの。仕上がりは純正と同じマットブラック



V-ROD

EBI 03

無理のないステップ位置でニーグリップも可能になる！



問／バッドランド TEL044-587-3139 www.badland.net

フォワードステップのVロッドがミッドステップになる簡単キット。

Vロッドは、ナイトロッドとVロッドマッスルの2モデルともフォワードステップで、日本人にはやや遠め。それを解消するのが、バッドランドのミッドコントロールキット（16万8000円）で、ステップの位置がエンジンの真横に後退し、足が自然に曲がるようになるのだ。



ベースプレートをフレームに直接取り付ける構造で、同社の従来品よりも精度や強度がアップしているのも特徴。なお写真は見塗装だが、製品はブラックまたはシルバーのパウダーコートが施される